

No. 1612

まなびピア'89

——幕張メッセ——

第一回生涯学習フェスティバル「まなびピア'89」が11月23日から27日まで千葉市の幕張メッセで開かれました。

会場には14の目的別ゾーンが設けられ404の団体・企業が参加しました。

「会いたいのは新しい自分」をテーマに自由時間の増大、高齢化社会へと進む現在、生涯学習に関する情報、素材を提供するのが狙い。

人気を呼んだのは「給食のいまむかし」コーナー。今年で100年を迎えた給食を明治22年のおにぎりから戦後の脱脂粉乳、そして平成元年のデラックスなモデルまで年代別に並べられています。

手作りのファッションやパソコンによる学習指導の実演や展示など、これからの複雑多岐にわたる社会生活の中で自分自身を見つめ直して、人生をより一層充実させるためにも生涯教育について考えたいものです。

冬を迎える

——群馬・桐生——

紅葉の深まる11月19日・20日。群馬県桐生市で恒例の「えびす講」が行われました。

桐生市宮本町にある桐生西宮神社は関東では珍しい蛭子（えびす）大神をまつり、海運交通、農工商各業の福の神として崇められてきました。

神社周辺の店にはタイ、宝船、招き猫、大判小判の縁起物を飾った名物「おタカラ」が空っ風に鳴りひびきます。

中でも人気の熊手売りは今年も景気の良さを反映して小は1,000円から大は100万円とお客との値段のやりとりにも熱がはいります。

晩秋の風物詩といわれる「えびす講」が終ると両毛地方も上州名物カラッ風とともに冬を迎えるのです。